広報 なきじん

第　10　号
編集発行　今帰仁村役場 広報編集委員会 TEL 098056－2101
印　刷　沖縄高速印刷 TEL(0988)32-5513

今帰仁村の人口

昭和50年3月31日現在

男	5,455
女	5,544
計	10,999
世帯数	2,696

村長 施政方針を発表

将来のムラづくりを進める

昭和五〇年度、第一回定例村議会が三月十日～四月三日まで行なわれました。冒頭、あいさつに立った松田幸福村長は施政方針演説で「予算の概要」「将来の基礎づくり」「社会福祉」「土木事業」「水道事業」「産業の振興」「教育の振興」などの問題に触れ、村政に対する所信の一端を述べました。

その中で村長は基本構想土地利用計画に基づき「今帰仁村将来の基礎づくり」に力を注ぎ「健康で明るい豊かな、調和のとれた、住みよい村づくり」を進める事を強調しました。

そこで今回はその全文を紹介したいと思います。

施政方針を発表する松田幸福村長

A はじめに

昭和五〇年第一回の定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれまして、おそろいでご参集され感謝にたえないところであります。

おかげをもちまして、当村の行政水準も逐年充実整備されつつあり、これすべて村民並びに議員各位のご理解とご協力によるものであり、重ねて厚くお礼申し上げるところであります。

昭和五〇年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算案並びに諸議案のご審議お願いするに当たり、村政に対する所信の一端を申し述べ、議員各位の隔意なきご批判をいただき、一層地域社会の福祉増進と村発展のために誠心誠意努力をいたしてまいりたいと存します。

私はこれまで一環して施政の基本的な考えは、**健康で、明るい豊かな、調和のとれた住みよい村づくり**を基調とし、産業、教育、文化、福祉をはじめ、生活環境の整備に努力してまいりました。

しかしながら、一昨年来の石油危機を背景とした社会経済の変動により、我が国の経済および国民生活に深刻な影響を及ぼし、異状な物価高騰となり、地方自治体の財政が圧迫され、計画事業推進に大きな支障をきたしている状況であります。

かかる財政事情の中で予算編成に当っては充分検討を加えて、高率的配分を考慮し、事業を推進することにいたしました。

B 予算の概要

歳　入

次に昭和五〇年度一般会計歳入、歳出予算の概要をご説明申し上げます。

予算総額は歳入、歳出それぞれ一二四七九五三千円となっております。

歳入の主なものは地方交付税＝六六六六千円（一伸長率三二.四%）村税＝三六六千円（〃三六.八%）地方譲与税＝三三千円　自動車取得税交付金＝二五八千円（〃六.九%）国庫支出金＝五四六千円（〃四.二%）県支出金＝二六六六千円（〃二.八%）以上が主な歳入財源であります。

歳　出

歳出の主なものは議会費＝三九三千円（対三千円の増）総務費＝四四六六千円（四六.六　千円の増）民生費＝二六六五千円（二二.六%　千円減＝前年は保育所建設のため割増となっています）衛生費＝九六六千円（〇.三　九千円減＝診療所建設費、水道費の特別会計への繰入等のため）農林水産費＝二四四（全千円（二五.二　千円の増＝農業構造改善事業と漁港整備事業等の増が主であります）商工費＝三九千円（九六六千円の増）土木費＝三三七千円（〇.三　千円の減＝特別財源による事業減であります）教育費＝三三四千円（六六六千円の増）

以上主な歳入歳出予算についてご説明いたしました次に具体的施策についてご説明いたします。

C 将来の基礎づくり

四八年度より立案作業を進めてきた本村の総合計画基本構想が四九年度第三回臨時議会において、ご承認いただき、このまとめを急いでおりましたが、このほど製本され、土地利用計画が三月中に製本の運びになっています。

新年度において、基本構想にもとづき、総合基本計画を策定して、今帰仁村将来の基礎づくりを進めてまいります。

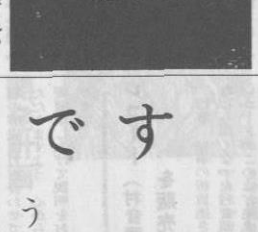
公共施設 村内の美化を

今年七月二〇日から開催されます海洋博関連事業として、部落排水施設、道路改良舗装、診療所の設置、中央公民館建設、公衆便所の設置、し尿処理、じん芥処理施設等を急ピッチに進められています。しかし単価アップ、収入落込みの影響や用地確保等難問題をかかえて未着工の分もありますが、早急に着工できるように努めてまいります。

とくに今年度は、村内の美化に重点において、村を美しくする努力をいたします。

その外、今帰仁村案内表示塔の設置、観光案内の発行を計画しております。

村内美化については海洋博協力局、村内各種団体のご協力を得て、植樹、清掃花いっぱい運動を進めてまいります。そのための樹苗草花の苗の配布、商店街や公共施設などを中心に、花鉢の配布も計画してあります。



完成が待ち望まれる中央公民館

D 社会福祉

老人いこいの場　中央公民館

先ず第一に老人福祉について努力をしてまいります。

村内に一六の老人クラブが結成され、更に北山老人大学が設置されて、老人自から、知識をみがき地域社会のために、目ざましい活動をしております。

村といたしまして老人が明るく楽しい日々の暮しができるように老人クラブ活動費の助成、ねたきり老人世帯に対する老人家庭奉仕員の派遣、老人健康診断、新しく建設される中央公民館の中に、老人のいこいの場を設けるなど、老人福祉の充実をはかってまいります。

老人福祉、母子福祉、児童福祉、精神障害者、重度身心障害者対策など福祉事業は非常に巾が広く、莫大な資金を要するので、国県の施策と相まって福祉増進のために努力してまいります。

年金について

国民年金、福祉年金業務については一〇〇%の適用率を示めし、保険料納認率も九四、四%に達しております。現在、国民年金の受給権者は二五七人で、年金額は四五五〇万円余になっております。

国民健康保険の被保険者も七八〇二人で、業務も順調に運んでおります。

五〇年度も最善の努力をしてまいります。

働く婦人のため 中央保育所

保育所については、最近幼児保育に対する社会の関心が高まり、とりわけ職場に進出する婦人の増加もめだっている状況であります。

この保育所の重要性に対して本村は特に力を入れてまいりました。

現在建設中の中央保育所も近々完了いたしますので内部施設を充備して七月に開園する準備を進めております。

環境衛生の施設と強化

環境衛生の抜本的改善策として、水道事業、し尿水処理およびじん芥処理場の設置、公衆便所の設置、住民健康診断の実施、伝染病予防、寄生虫予防などの事業を進めてまいります。

じん芥処理、し尿処理については本部町、今帰仁村清掃組合の共同施設で処理できるようになっており、処理場までの運搬は町村の責任で、その運営については、じん芥の場合、従来の村直営から業者へ委託する方式へかえていきたいと考えております。

し尿の場合は従来どおり希望業者に対して許可制でやっていく考えであります。

七月に開院 診療所

診療所については、いよいよ五月に完成することになっています。

七月開院に備えて、その準備に最善の努力をしてまいります。

医師確保につきましては関係者のご協力を得て最善の努力をしてまいります。

ほぼ完成の診療所

村民の心配ごとに答えます

その外、村民がひとしく明るく楽しい生活ができるように、月一回の人権相談日、週一回の心配ごと相談日を設定し、いろいろの相談を受けて悩みごとの解決につとめてまいります。

海水浴シーズンです

水難事故に気をつけましょう

きれいな水が

古宇利島に水道

水道課を設置

水道課長の渡嘉敷氏

"上質な飲料水を本村の各家庭に給水を"と去る一月一日から水道課（渡嘉敷広栄課長他二名の職員）ができました。

現在私たちの水道は各部落が共同し、簡易水道による給水を行っており、全般的に硬度が高く、大腸菌が多い事で飲料水としては不適当なものです。

それに加え、雨天時、特に梅雨期になると赤い水が水道の蛇口から出る状態で常日頃、水の使用が多い主婦たちには不便をかこっていたものです。

そこで「将来の人口増加に伴う水道の必要性」が出、去る十二月定例議会において「水道課設置条例」を提案―今回の運びとなりました。

水道課では「当分の間は簡易水道を利用します」が五一年度からは現在の簡易水道施設を利用、県企業局より浄水（新鮮な水）が給水できるように、将来人口増加を見通し、**配水池**＝諸志地区（今泊、兼次、諸志与那嶺、仲尾次、崎山）識名地区（平敷、謝名、越地）、仲宗根地区（仲宗根玉城）、天底地区（呉我山湧川、天底、勢理客、渡喜仁、運天、上運天、古宇利）の設置行い、各家庭の蛇口から出る水圧はなるべく一定に保つように配慮され、そのための配管工事計画を進めています。

そして古宇利島へは五一年度事業で陸上配管二、二五km、管底送水管一、六kmの工事を計画中であります五一年度までに陸上工事を完了。長年の望みであった水道ができ、台所で自由に水が使用できる日も近くなりました。

50年度、事業予定

1　村道湧川―運天線改良

道路は村勢躍進の現実から、その整備は急を要する課題であり、四九年度に引き続いて村道路整備計画、国、県の地方道路整備計画及び交通安全施設整備計画に基づき、村道の改良舗装整備を推進してまいります。

延長は約一万mを交通量の多い部落内の重要路線を重点的に実施する計画であります。

その外未補装の道路は、年一回のコーラル舗装を実施し破損個所の補修は年間を通じ常時整備する計画であります。

四九年度より継続事業の湧川―運天線の改良事業については第一次計画として一六〇〇mを計画し、道路用地の先行取得を国庫補助事業として実施する計画であります。

E 一般土木事業

湧川―運天線を中心に部落路線一万mを補装

2　村道交通安全施設整備事業
3　古宇利地内路側石積工事
4　天底地内排水側溝工事
5　村道簡易舗装工事
6　村道路面整備事業
7　村道新設事業（仲宗根）
8　同橋梁新設事業
9　中央線改良工事

農業施設

1　農道路面整備事業
2　玉城地内河川横断農道事業
3　呉我山地内砂防ダム新設事業
4　古宇利漁港海岸保全事業
5　古宇利局部改良事業（船揚場）
6　運天漁港海岸保全災害復旧事業

F 水道事業

古宇利に海底送水管　全家庭が浄水道に

水道事業については、村水道整備総合計画に基づき現在九個所の簡易水道を四ブロックに統合し、県企業局の浄水を受水する計画であり、全地区への給水は海洋博終了後に行なう計画であります。

その管理運営は村水道課で行なう計画であります。

古宇利の水道事業については、五〇年、五一年度二ヶ年の継続事業とし、五〇年度は海底送水管施設工事を実施、五一年度において陸上工事を完了して給水する計画であります。

G 産業の振興

機械化、基盤整備の強化を

復帰前後からの土地の買い占めと石油危機に端を発し、異常な農業資材の値上り、高賃金の中で農家は農業への不安を持ち農業に対する意欲も急激に減退しつつあった。

しかしながら物価の高値安定と海洋博後の景気後退の予想、世界的食糧事情の悪化等、農業に対する客観情勢が好転した事は、本村農業に大きな希望を与えたものと思考される。

本村はその現状と動向を踏まえて今後の農業振興を計らねばならぬと考えます。

生産部門においては農業基盤の整備、構造改善事業を積極的に推進し、機械化および農業近代化施設を導入整備して、労働ならびに土地生産性の向上と、さとうきび、パインアップル、葉煙草、畜産の経営合理化をはかり、農業経営の安定をはかりたい。

さとうきび

さとうきびについては、全工程において五〇%以上の比重を占める収穫作業の軽減に重点をおき、収穫作業機械の導入をはかる。

この事業はあくまでも将来基盤整備が行なわれ、大型収穫機の導入を前提としてすすめていく考えであります。

その外、品種改良、病害虫の防除も積極的に推進する考えであります。

パインアップル

現在パインアップル産業は崩壊の危機に直面しており、その活路を見い出すのが最大の急務であり、それに向けて努力しています。

本村としてはパインアップル産業を維持発展させるために、古株更新、優良種苗の増殖普及などの事業を継続して実施する考えであります。

葉煙草

さとうきびとの輪作で有利であり、流通機構が安定し、収益性も高く安定した換金作物であるので、その増産をはかるために乾燥施設の整備充実をはかるために乾燥室設置補助を計画しております。

野菜

海洋博に向けて農業に対するメリットは、野菜栽培だと考え、その育成に力を入れていく考えであります。

育成事業として、野菜団地の育成、施設園芸の推進海洋博向契約栽培等を計画しております。

畜産

現在畜産物の価格が低迷していますが、そのままの状態がいつまでも続くものとは考えられない。

すでに価格安定対策が進められ安定の方向に進みつつあります。

本村としては畜産は将来とも基幹産業としての力を入れていく考えであり、去年度に引き続いて肉用牛の生産奨励、豚の品種改良及び防疫体制、畜産指導体制の強化をはかっていく考えであります。

数多くなったトンネル栽培

農業基盤整備

生産基盤の整備、農業構造改善事業を積極的に推進し、機械化および農業近代化施設を導入して労働力ならびに土地生産性の高い農業を育成するために、五〇年度事業として仲尾次の団体営畑総事業、平敷土地改良事業、兼次の農業構造改善事業と畑地かんがい事業を計画して予算を計上しています。

水産業について

本村において、従来栽培漁業を基本として推進してきたが今後もその方向に力を入れるとともに漁船の大型化と漁港の整備、漁業構造改善事業を推進していく計画をしております。

林業について

林業については、自然林地区の保護育成、水源かん養林の育成をはかるとともに、造林については経済価値の高い樹種に逐次切りかえていく考えであります。

呉我山の苗圃は各種の優良品種を取り入れ、母樹園にしていく考えであります。

与保城の苗圃は緑化木など、各種樹苗の育成苗圃として現在ぼう経営していく考えであります。

H 教育の振興

施設の強化を図る　中央公民館での成人教育を充実

教育の振興については昭和四七年度を基準年次として計画いたしました学校施設整備計画に基づき五一年度までに、学校施設の整備充実をはかる計画であります。

今年度は天底小学校々舎湧川小中学体育館及び体育館建設用地購入費、校門道路敷地代と工事費、古宇利小中学校体育館建設用地購入費など計画しております。

社会教育について

社会教育が人間性の回復や人間能力の開発、村民文化の向上、生活福祉の増進に積極的に貢献するという重要な役割を持つものであることに留意し、具体的には、

①生涯教育の理念の確立に努め、それに必要な施設整備の充実と指導体制の確立を図る。

②村民の教育的要請の動向のみとおし、社会教育の実態把握とこれに基づく社会教育総合計画の策定と実践化を図る。

③村民の生活からの要求に直結した学習内容と方法を考え学習機会の拡大をはかる。

④芸術文化の振興と文化財尊重の気運を積極的に醸成する。

⑤体力づくり　スポーツの生活化をめざしつつ、心身ともに調和のとれた社会人の育成に努め、健全な家庭の社会の建設に寄与する活動を捉進する。

以上のことを考慮し、特に昭和五〇年度は村民の学習の場である中央公民館も落成するので、宇公民館と公民館活動を充実させ、成人教育の振興に努め、健全な家庭の育成を図る。

また体力づくり運動を展開し、村民の体育スポーツの生活化を図りつつ、民俗芸能公開（伝統芸能まつり）等、芸術文化の高揚、文化財尊重の気運を積極的に醸成する。

五二年度事業として野菜集荷貯蔵庫、低温貯蔵庫、共同処理加工施設の事業が国、県との調整も済んでその準備を進めております。

観光、商工業

海洋博を契機に観客誘致のための環境整備事業として、公衆便所の設置、案内表示塔の設置、観光案内の発行、花いっぱい運動、村内美化などを計画してあります。

レコード（村音頭）を販売

行事、祭事の折放送されなじみ深くなった村音頭のレコードがこのほど完成、販売していますので御希望の方は申し込んで下さい。

申し込み先＝村役場企画室　定価＝五〇〇円

以上昭和五〇年度の予算編成の概要と村政に対する所信の一端を申し述べましたが、議員各位のご理解をいただき、村民各位の立場に立ち、この方針を進めていく考えであります。

なお海洋博もひかえ、いく多の難問題が山積しておりますので、残された諸問題の解決に力を合わせていただきますよう、心からご要望申し上げて説明をおわります。